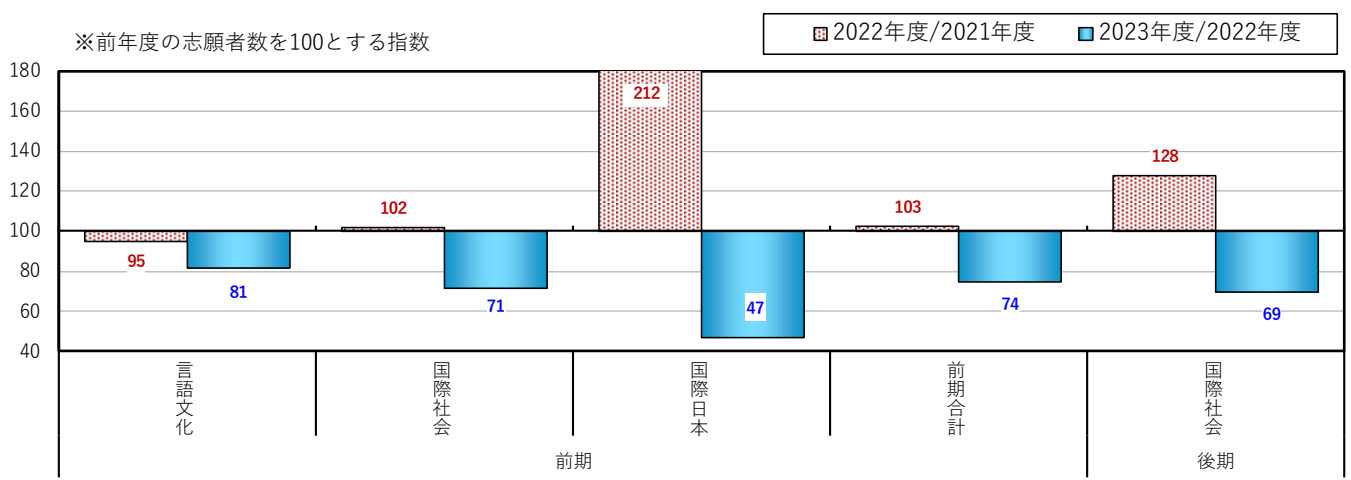


東京外国語大：前後期共に大幅減少、系統への不人気と前期の共通数学負担増が影響 前期：-390人 後期：-406人



主な入試変更点 共通テスト：<前>…科目変更：数→数2
 配点変更：国<100>+数<50>+外<200>+ {(歴公 or 理 or 理基2)→2} <100>=総点<450>
 →国<100>+数2<100>+外<150>+ {(歴公 or 理 or 理基2)→2} <100>=総点<450>

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前年度7年ぶりに増加したが、コロナ禍の影響による系統への低い人気に加えて、前期では共通テストでの数学2科目必須の負担増も影響して、796人(72)の大幅減少。日程別では、前期は390人(74)の大幅減少で、募集人員が579人となった2019年度以降では最少。志願倍率は2.64倍→1.96倍にダウンして2倍を下回った。国際社会のみ募集の後期は前年度大幅増加の反動もあって、406人(69)の30%を超える大幅減少。募集人員が56人となった2019年度以降では最少で、志願者数は1,000人を下回り、志願倍率も23.7倍→16.5倍にダウンした。

- <前期日程>
- 言語文化(81)は、大幅減少で、募集人員が290人となった2019年度以降では4年連続減少。志願倍率も2.7倍→2.2倍にダウン。専攻言語別では、15募集単位中9募集単位が減少。
 - 国際社会(71)は、大幅減少で2年ぶりに減少。13募集単位中11募集単位で減少。
 - 国際日本(47)は、前年度倍以上の反動で半減以下。志願倍率も3.5倍→1.7倍にダウン。